

E C O
エコ エア ソール
A E R O S O L



環境にやさしい

エアゾール製品



知っていますか？ エアゾール製品が環境にいいワケ

環境を汚染しない

スプレー式なので、手や周囲をよごすことはありません。また、完全密閉されているため、衛生的で汚染の心配がありません。

無駄なく使える

望むところに、適量だけ使用でき、残りはそのまま保存できます。不用な分を無駄に使い切ったり、余った分を無理やり使い切ったり、破棄したりする必要がありません。

持続性がある

品質を維持したまま長期間使用が可能です。品質が劣化しにくいため、他のパッケージ製品に比べ、廃棄量を減らせます。

パッケージによる品質保全の違い

みなさんの生活の周りでも、いろいろなパッケージ製品を使用していると思います。分別リサイクルをしていたとしても、それぞれに違いがあります。パッケージ別に品質保全の違いを見ていきましょう。

一般製品

一般的な品物は、購入からまもなく、劣化が進みます。短期間のうちに、使いきれなければ、品物を廃棄することになります。冷蔵庫での保存もそれほど長くすることはできません。

缶製品

缶製品は、購入から長期間、常温保存しても内容物の品質を維持することができます。しかし開封後は酸素に触れ、劣化が進みます。よって、使いきれない分を廃棄することになります。

エアゾール製品

エアゾール製品も、缶製品と同様に、購入から長期間保存することができます。さらに使用を開始しても、内容物が酸素に触れないため、長く保存でき無駄を防ぐことができます。

スプレー缶（エアゾール缶）の捨て方をマスター！

step1 エアゾール缶の中身を空にする



- ・製品を使いきって、缶をカラにする
 - ・使いきれない場合は、中身を出して缶をカラにする
- 注意1) 中身を出す場合は、火気のない風通しの良い屋外で行ってください。近くの火気や静電気で引火することがあります。
- 注意2) 紙袋に新聞紙や布切れを詰め、その中にスプレーをして缶の中身を空にしてください。スプレーボタンを押しても、中身を空にすることができない時は、商品に記載されているお客様相談室や販売元（メーカー）にお尋ねください。

step2 中身が空になったか確認する



- ・缶を振って音を聞いてみる
 - ・中身が残っていると『シャカシャカ』『チャブチャブ』などの音がする
- カラだと思っても・・・使用条件により、中身が少量残ることがある。

step3 ガス抜きキャップを使って、ガスを抜く （機能が搭載された製品のみ）



- ・製品に書いてある“ガス抜きキャップの使い方”をよく読む
 - ・火気のない風通しの良い屋外で作業する
 - ・ティッシュや新聞紙などに吹き付けることで、周囲への飛散に配慮する
- 中身（内容液・ガス）が空になったエアゾール製品は「ガス抜き済み」と書き廃棄する。

step4 ガス抜き後、ごみに出す



- ・キャップ（ふた）や噴射のためのボタン等、プラスチックを分別する
 - ・容易に取り外せない場合は、無理して外さない。
 - ・ごみの出し方は、地域によって異なる
- 不燃ごみ・資源ごみ（缶類・金属類）など、分別の仕方を確認して、ルールを守りましょう。
- 穴を空けて捨てる場合は完全にガスを抜いてから穴を空けて下さい。（廃棄方法や分別方法は各自自治体によって異なります）

ガス抜きキャップの使い方

スプレー缶には【ガス抜きキャップ】が装着されています。中身のガスをし切るために、ガス抜きキャップを使いましょう！

ガス抜きキャップの使い方を もっとわかりやすく！



ガス抜きのやり方を動画で詳しく知りたい！



特殊な形のスプレー缶をガス抜きしたい！

エアゾール缶は、中身を完全に使いきり、ガス抜きがしてあれば、金属の容器と同様、安全に廃棄することができます。また、リサイクルすることも可能です。

スプレー缶（エアゾール缶）の捨て方を動画で解説！

